

先進国ハイクオリティ成長株式ファンド（為替ヘッジなし） ＜愛称：未来の世界（先進国）＞

追加型投信／内外／株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主としてわが国を含む先進国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）、または事業活動の主要な部分を先進国で行うと判断される企業が発行する上場株式に実質的に投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年1月31日～2020年1月14日

第1期	決算日：2020年1月14日	
第1期末 (2020年1月14日)	基準価額	11,858円
	純資産総額	127,741百万円
第1期	騰落率	18.6%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

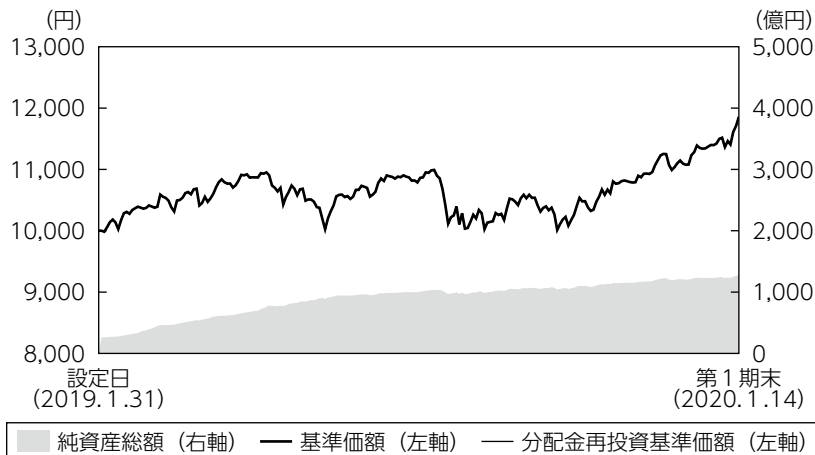
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



設定日： 10,000円
 第1期末： 11,858円
 (既払分配金0円)
 騰落率： 18.6%
 (分配金再投資ベース)

(注) 設定日の基準価額は、設定当初の金額です。

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。
- (注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

米国をはじめ主要国が金融緩和姿勢を維持ないしは強化したことを背景に、先進国株式市場が上昇したことに加え、米ドルやスイスフランといった通貨に対し円安が進んだことが、基準価額を押し上げました。セクター別では、情報技術関連の株価上昇が主にプラスに寄与しました。一方で、景気減速や英国のEU（欧州連合）離脱を巡る不透明感などを要因として、ユーロが対円で下落したことは基準価額にマイナスに寄与しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第 1 期		項目の概要
	(2019年1月31日 ～2020年1月14日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	188円	1.765%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,645円です。
(投信会社)	(116)	(1.090)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(66)	(0.623)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(6)	(0.052)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.037	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(4)	(0.037)	売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(c) 有価証券取引税	7	0.065	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株式)	(7)	(0.065)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	2	0.016	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.012)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.002)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	200	1.883	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

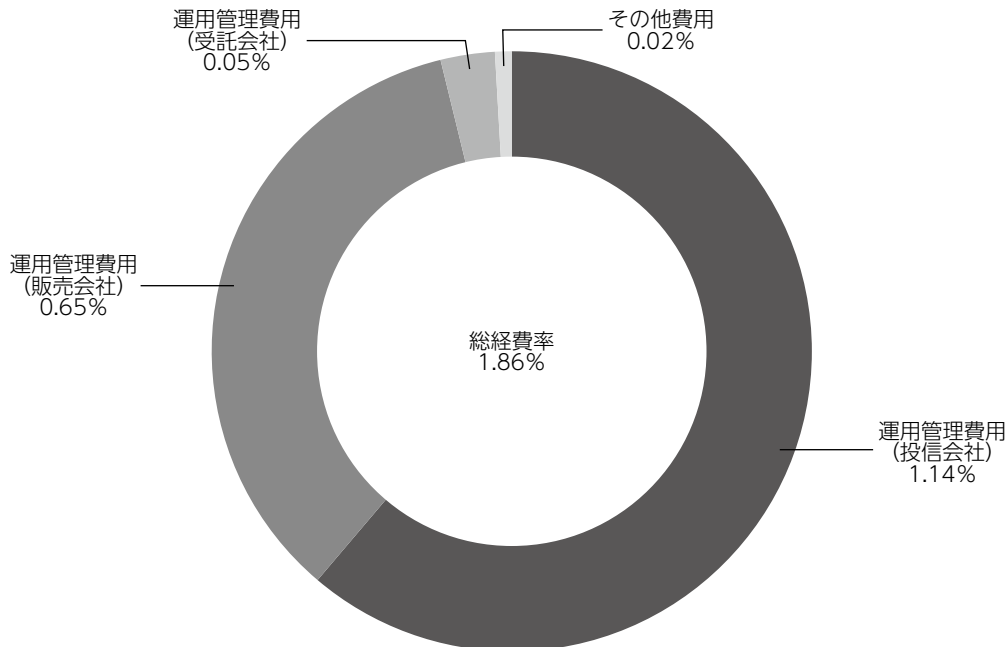
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.86%です。



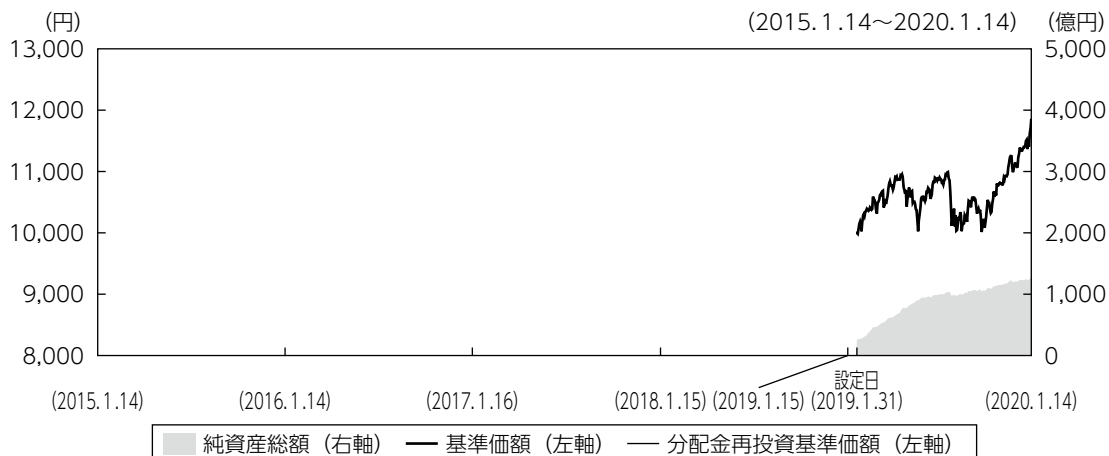
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

	2019年1月31日 設定日	2020年1月14日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,000	11,858
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	18.6
純資産総額 (百万円)	26,216	127,741

- (注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
- (注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークは定めておりません。

投資環境

先進国株式市場は上昇しました。F R B（米連邦準備理事会）が金融政策スタンスを緩和方向に転換し、E C B（欧州中央銀行）が低金利政策を継続するなど、低金利環境が当面続く見通しとなったことが、世界景気の先行きへの懸念を和らげました。セクター別では、堅調な業績を受けて、情報技術セクターやコミュニケーション・サービスセクターなどが上昇を牽引しました。他方で、原油の需給緩和懸念などを背景に、エネルギーセクターは上値の重い展開となりました。

為替市場は、米ドルやスイスフラン等に対しては円安が進む一方、ユーロや豪ドルに対しては円高となりました。期前半には、米国の金融政策方針の転換を背景とした内外金利差の縮小に加え、世界経済の減速懸念の高まりによるリスク回避的な円買いが進みましたが、期半ば以降は米中通商協議進展への期待が高まり、徐々に円安が進みました。

ポートフォリオについて

● 当ファンド

先進国ハイクオリティ成長株式マザーファンドの組入比率を期を通じて高位に維持するよう運用しました。

● 先進国ハイクオリティ成長株式マザーファンド

先進国に上場もしくは先進国で主に事業を展開する企業の株式に投資を行いました。投資アイデアの分析・評価や、個別企業の競争優位性、成長力の評価に基づき選定した質の高いと考えられる企業の中から、市場価格が理論価格より割安と判断される銘柄を厳選し、情報技術および一般消費財・サービスセクターの組入比率を高位としました。一方で、金融やヘルスケアセクターについては、保有比率を低位としました。

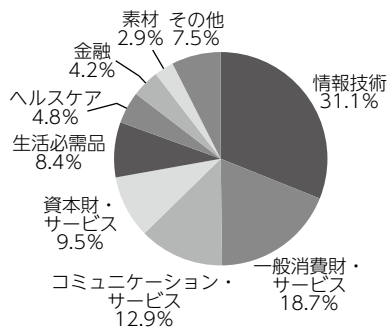
【先進国ハイクオリティ成長株式マザーファンドの運用状況】 2020年1月14日現在

（注1）比率は純資産総額に対する割合です。

（注2）業種は決算日時点でのG I C S（世界産業分類基準）によるものです。

（注3）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

○ 業種別配分



分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2019年1月31日 ～2020年1月14日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	1,857円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、先進国ハイクオリティ成長株式マザーファンドの組入比率を高位に維持します。

●先進国ハイクオリティ成長株式マザーファンド

地政学リスクや世界景気の減速に対する警戒感が残存しており、先進国株式市場は変動の大きな局面が再度訪れることも予想されます。当ファンドでは、こうした外部要因に業績が左右されにくい、収益基盤の強固な優れた企業へ投資することで市場変動の影響を極力抑え、長期的に高いリターンを獲得することをめざします。徹底したボトムアップ・アプローチを通じ、長期にわたり持続的で質の高い成長が期待できる企業を選別し、株価の割安度を重視して少数の銘柄へ集中投資を行っていく方針です。

お知らせ

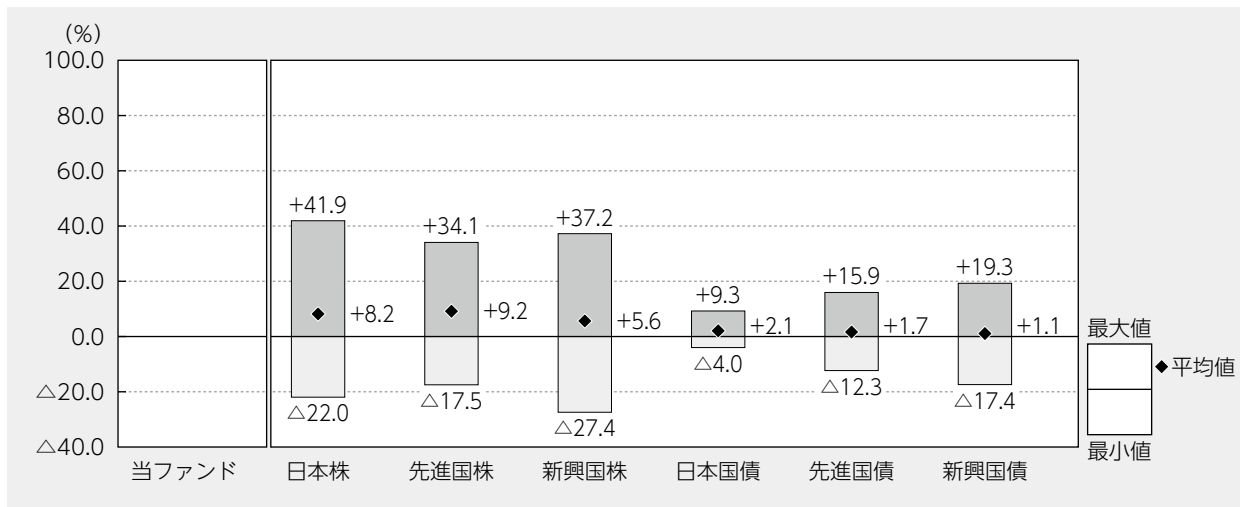
■当ファンドが投資対象とする「先進国ハイクオリティ成長株式マザーファンド」において、株式等の運用の指図に関する権限の一部を委託しているモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクが、当該運用の指図に関する権限の一部をモルガン・スタンレー・アジア・リミテッドに再委託することに伴い、約款に所要の変更を行いました。

(2019年12月7日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2019年1月31日から2029年1月15日までです。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。	
主要投資対象	先進国ハイクオリティ成長株式ファンド（為替ヘッジなし）	先進国ハイクオリティ成長株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	先進国ハイクオリティ成長株式マザーファンド	わが国を含む世界の金融商品取引所に上場する株式（上場予定を含みます。） ^(*) の中から、先進国の金融商品取引所に上場する株式 ^(*) または事業活動の主要な部分を先進国で行うと判断される企業が発行する上場株式 ^(*) を主要投資対象とします。 ^(*) DR（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。
運用方法	マザーファンドのポートフォリオの構築にあたっては、投資アイデアの分析・評価や、個別企業の競争優位性、成長力の評価に基づき選定した質の高いと考えられる企業（「ハイクオリティ成長企業」といいます。）の中から、市場価格が理論価格より割安と判断される銘柄を厳選して投資を行います。ボトムアップ・アプローチを基本に、持続可能な競争優位性を有し、高い利益成長が期待される銘柄を選定します。マザーファンドの株式等の運用にあたっては、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクに運用の指図に関する権限の一部を委託します。なお、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクは、その委託を受けた運用の指図に関する権限の一部（株式等の投資判断の一部）を、モルガン・スタンレー・アジア・リミテッドに再委託します。 マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。 実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
分配方針	決算日（原則として1月14日。休業日の場合は翌営業日。）に繰越分を含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド : 2019年12月末現在、設定後1年を経過していないため、データはありません。

代表的な資産クラス : 2015年1月～2019年12月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2020年1月14日現在）

◆組入ファンド等

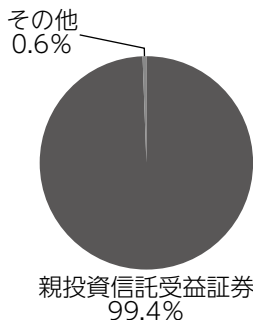
（組入ファンド数：1ファンド）

	当期末
	2020年1月14日
先進国ハイクオリティ成長株式マザーファンド	99.4%
その他	0.6

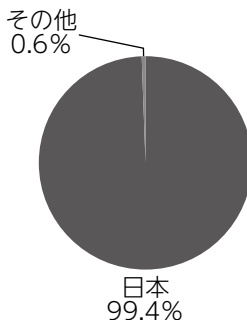
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

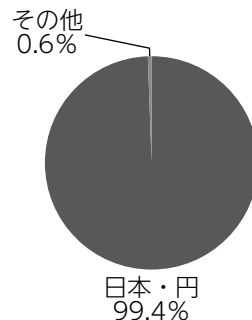
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

項目	当期末
	2020年1月14日
純資産総額	127,741,703,689円
受益権総口数	107,730,500,864口
1万口当たり基準価額	11,858円

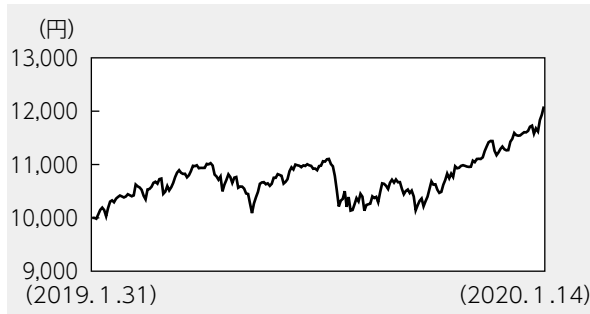
（注）当期中における追加設定元本額は85,207,959,791円、同解約元本額は3,693,538,477円です。

組入ファンドの概要

【先進国ハイクオリティ成長株式マザーファンド】（計算期間 2019年1月31日～2020年1月14日）

※先進国ハイクオリティ成長株式マザーファンドは2019年1月31日に設定されました。

◆基準価額の推移



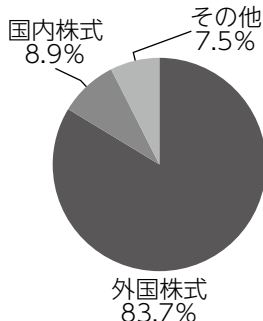
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
MASTERCARD INC	アメリカ・ドル	5.6%
ALPHABET INC-CL C	アメリカ・ドル	5.4
DSV PANALPINA A S	デンマーク・クローネ	5.1
HERMES INTL	ユーロ	5.1
ADOBE INC	アメリカ・ドル	4.8
キーエンス	日本・円	4.6
SERVICENOW INC	アメリカ・ドル	4.5
MONCLER SPA	ユーロ	4.5
VISA INC	アメリカ・ドル	4.4
AMAZON.COM INC	アメリカ・ドル	4.1
組入銘柄数	41銘柄	

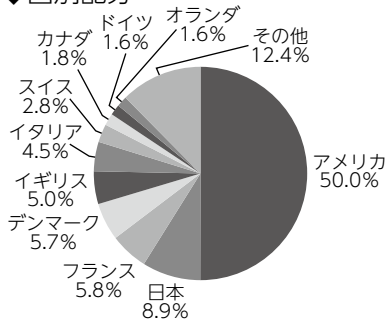
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	4円 (4)	0.038% (0.038)
(b) 有価証券取引税 (株式)	7 (7)	0.066 (0.066)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (0)	0.014 (0.012) (0.002)
合計	13	0.118

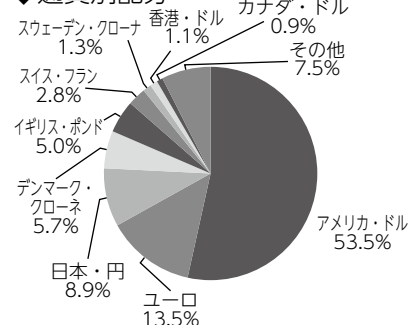
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,752円）で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ（1万口当たりの費用明細）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分については、上位11位以下をその他に含めて集計しています。

(注6) 国別配分は、発行国（地域）を表示しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。